

神戸秋の音楽祭 ワンコインセミナーシリーズ 第3回

# ザクセン文化と音楽のエッセンス

10月27日に来神するザクセン声楽アンサンブルは、教会音楽を得意とし、透明な声で織り成すハーモニーの美しさは世界中から絶賛されています。彼らを迎える神戸市混声合唱団は、日本では数少ないプロの合唱団としてオペラからシャンソン、童謡まで幅広くレパートリーにしています。

同じ合唱でも、ジャンルによって少しずつ違うポイントを、ザクセン文化の紹介を交えながら、合唱指揮第一人者の松原先生が解説。聴く音楽としての合唱を掘り下げます。

日時：10月13日(木)

午前10時30分～11時30分

会場：東灘区民センター 9階 多目的ホール

講師：松原千振（指揮者）

料金：500円

演奏付き！



※10月27日「珠玉のア・カペラ」チケットをお持ちの方は無料  
当日チケットを必ずお持ちください

## <講師プロフィール>

### 松原千振（指揮者）

1951年長野県生まれ。国立音楽大学卒。渡欧。シベリウスアカデミーに学び、マスタークラスを修了。エーリク・エーリクソン、ダン・ウーロフ・ステーンホルンドに師事。1978年からフィンランドを中心に北欧及びバルト諸国で活動。ヘルシンキ大学男声合唱団の第二指揮者として、多くの初演を手がけ、1985年からフィンランド放送室内合奏団の指揮者としてルネサンス時代の作品の指揮にあたる。また1987年春に、フィンランドで発見された膨大な曲数にのぼる中世の単旋聖歌について、その解説を含む復元作業をフィンランド放送協会から委嘱され、その整備のかたわら蘇演にも当たっている。なお、このために同放送協会は12人の古楽合唱団（セートゥス・ノステル）を編成し提供している。1987年と1991年には、タピオラ少年少女合唱団の副指揮者として来日。1998年から、欧米のプロ合唱団の客演指揮者を常時、務めている。1995年東京混声合唱団第150回定期公演に初登場。1997年東京混声合唱団常任指揮者に就任。同年、東混初のヨーロッパ公演を指揮。また、アマチュア合唱界の指揮や指導にも深い知見による貢献が知られている。2013年「ジャン・シベリウス 交響曲でたどる生涯」（アルテス・パブリッシング）を上梓。

2003年、月刊神戸っ子 第32回ブルーメール賞<音楽部門>、同年神戸市文化奨励賞受賞。

## 秋の音楽祭レクチャー(10月13日)参加申込用紙

※ご記入の上、東灘区民センターへ FAX(078-822-8181)または窓口へお出しください

|     |  |       |  |
|-----|--|-------|--|
| お名前 |  | お電話番号 |  |
|-----|--|-------|--|

内容に関するお問合せ：神戸市民文化振興財団事業二部 078-351-3597